

キャリア教育新聞

No.8

2025年 9月
発行

共創共学
プラットフォーム
(塩尻市教育委員会委託事業)

共創共学プラットフォームメンバー紹介

塩尻市教育委員会事務局
学校教育課 教育企画係 瀧沢 快斗

塩尻市教育委員会事務局学校教育課の瀧沢快斗です。本年度は副担当として、キャリア教育に係る予算や契約などの管理を担当しております。大切な税金を適正に使用するため、学校から提出された計画書や予算書を確認して予算を配当したり、委託先と委託事業の進捗状況について打ち合わせをしたりしています。教職員が子どもたちの主体的なキャリア形成を後押ししていくにあたり授業の中で必要となる「ひと・もの・こと」を整えることができるよう引き続き支援していききたいと思います。

地域で活躍する中高生

この夏休み、市内の公民館やコミュニティ・スクールが実施している小学生対象の学習ひろばやイベントなどに中学生や高校生が参画した。

宗賀公民館の学習ひろばでは、塩尻西部中学校の「孫の手プロジェクト」のメンバーがボランティアとして学習支援を行うとともに、小学生が楽しめるミサンガづくりを企画。材料を用意し、作り方を丁寧に教えていた。丘中学校の地域貢献サークル「ダスク」のメンバーは、地域のイベントや吉田夏ゼミのお手伝いをした。

東京都市大学塩尻高校の生徒は、中央公民館のサマースクール公民館で一つのコーナーを企画、運営した。子どもたちの体験を広げる内容になっていて、参加した小学生がこのコーナーで作ったものは、大切な宝物になった。また、同じ生徒は高出公民館で「高出公民館に眠る七つの宝」を企画、同級生の力も借りて実施した。参加した小学生は、公民館で体を動かし、初めてグループになった仲間と話し合いながら活動を楽しんでいた。

このような取組をとおして、中高生は探究力や企画力を高めることができ、地域に関心をもつ機会になった。小学生は魅力的な中高生と接することができ、自分の世界を広げることができた。今後も公民館と学生が協働することで、ボランティア活動や探究学習、地域住民の交流の場が広がっていくとよい。



中学生、高校生の声

- ・小学生が積極的に動き、自主的に考える姿を見ることができて大きな収穫になった。
- ・温かく見守ってくれる地域に恩返しをしたい。小学生が喜んでくれて、「また、やりたい」と言ってくれてうれしい。



小学生の声

いろいろな国のことを知れて楽しかった。高校生がわからないことを詳しく教えてくれた。



地域の関係者の声

学習ひろばに参加しているボランティアの皆さんが、中学生の企画や運営を認めることで、中学生の自己有用感が高まり、地域内のよいつながりになっている。

▲ 高校生とつくるたのしい思い出たいけん

塩尻市キャリア教育アドバイザー 赤井 友美さん

東京都生まれ。(株)リクルートに新卒入社し、約十二年間で三部門、広報、人事などを経験。新規事業制度で複数回入賞。その一つである中学生向けキャリア教育プログラムの起案・立ち上げの経験から、教育の世界に足を踏み入れる。

本市では令和5年度塩尻西部中学校のプログラムをコーディネート。令和6年度より現職に就任。塩尻市のキャリア教育に関わる諸会議及び中学校でアドバイザーとして活躍している。

(株)4smiles代表取締役・(一社)未来教育イノベーション共同代表理事を務める一男一女の母。

◆ お問い合わせ

共創共学プラットフォーム事務局 (NPO法人MEGURU)
塩尻市教育委員会事務局学校教育課 (0263-52-0280 内線・3112)